

令和4年度第2回事例勉強会の実施報告

第2回事例勉強会について、以下のとおり報告する。権利擁護部会第2回「事例勉強会」では実際に各事業所が対応した事例を題材にし、検討のポイントに対し意見を交わすことで、議題及び支援方法の共有を図った。

1 実施日時等

開催日時：令和4年12月20日（火）10：00～12：00

開催場所：板橋区役所 北館9階 大会議室B

参加者数：6名

2 事例検討事項（2件）

※個人情報保護の観点から、事例の内容は割愛

事例タイトル	・行方不明を繰り返す知的障がい者の支援方法について
問題 （課題）	・保護者との散歩時などに行方不明になる問題については、いろいろな方法を提案し、家の鍵の施錠や散歩を取りやめることで回避されたが、結果散歩を制限することになった。
検討ポイント	・行方不明を繰り返す利用者に対して、支援方法は何かないか。
参加者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家の鍵を閉めてしまうことは、身体拘束につながるかもしれない。居宅介護で慣れているヘルパーの移動支援などを使ってみたらどうか。 ・施錠をして閉じ込めるのではなく、誰かと一緒にでかけることのメリットを本人に知ってもらうことが大事。 <p>外部の人と過ごす時間を少しずつ増やしていくことで、最終的には自立にもつながっていくと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区の安心ネットを利用して、警察との関係を深くし、行方不明などがあつた場合に警察も含め、地域ぐるみで対応していけばいいと思う。 <p>※板橋安心ネットとは →知的障がい・発達障がいのある人たちを理解し、誰もが安心して暮らせる街づくりを目的に設立された団体。（平成15年結成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は何かリスクがあつたときの協力体制を見つけて行くしかない。 ・散歩などで外出して、「自分はここで生活しているよ」ということを、地域に発信し、地域の見守り体制を築いていくことは大事だと思った。 ・iPhoneなどの位置情報機能を使ってみたらどうか。

事例タイトル	・区内に転居をしてきた知的障がい者の男性の金銭管理について
問題 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の金銭管理に問題があることから、親族が金銭管理し、利用制限をしている。 ・日常生活自立支援事業の利用や、成年後見制度の理解を促し、親族と本人の問題修復を考えたが、その考えは本人と関係機関の理解が得られなかった。 <p>※日常生活自立支援事業とは →認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転居前に受けていた支援や今までの生活の様子について、本人と親族の話す内容に食い違いがあり、戸惑った。
検討ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が「虐待を受けていた」と話した場合に支援者として行うことは何か。 ・問題・課題をふまえ、本ケースにどうかかわっていけば、よかったのか。
参加者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の通帳を自分で管理することは本人の権利である。 ・この年で働いていて、家を出て生活していくことは普通。そこから、お金の使い過ぎ等で自己破産して、生活保護にならないように支援していくことが大事。 ・一般就労なので、ハートワークに登録して、就労定着支援や生活支援をしていく中で、本人を見ていけるのではないかな。 ・支援機関等で金銭管理することを、親族に納得させるようにつなげることが重要だと思う。 ・自由に使えるお金も制限するのは違う。そこは親族にも理解してもらえるように発信していき、本人の思いを説得していくしかない。

3 参加者の感想

○2件とも悩ましいケース。本人主体の支援を家族に示していく必要があると思った。

○この場でいろいろな支援方法を聞いたのはとても参考になった。

○安心ネット等の利用で、警察などと協力し、地域全体で見守り・サポートを行うことはとても重要だと思った。

4 事務局（障がい政策課）の感想

○対人というところで、支援には答えがないことを改めて感じた。その中で、本人の意向に沿って一番いい支援ということで、地域で見守りやサポートしていくといったところは重要だなと思った。

5 今後の展望

○今年度、試行的に実施した事例勉強会では、様々な事例に対し、活発な意見交換を行うことができた。その中で、各委員から新たな支援方法や課題等について、多様な視点での意見を得られた。よって、第9期においても、事例勉強会の継続的な開催を検討していく。